

■第68回 河川レンジャー制度運営委員会（2023.3.1）議事録

◆出席：中谷委員、北井委員、平山委員、辻委員、矢野委員

（太字：決定事項，R印：河川レンジャー，M印：レンジャーマネージャー，○印：一般傍聴者，△印：事務局）

審議項目	発言者	発言要旨（発言順）
1. 開会	△中西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は、ご多忙の中、河川レンジャー制度運営委員会にご出席を賜りまして、御礼申し上げます。これより第68回の河川レンジャー制度運営委員会を開会いたします。</li> <li>・私は、本日の司会進行を務めます、委員会事務局、河川財団近畿事務所の中西と申します。よろしくお願いいたします。</li> <li>・本日の委員会でございますが、現在、委員総数5名に対しまして3名出席いただいております。過半数を満たしているということで、第8条第2項によりまして委員会の成立を報告させていただきます。</li> <li>・次に、お手元にお届けさせていただきました資料の確認でございます。資料としまして、議事次第、委員名簿。続いて、本資料の1番から4番まで。参考資料は6種類でございます。それから、メールで補足資料を送らせていただいております。</li> </ul>

（太字：決定事項，R印：河川レンジャー，M印：レンジャーマネージャー，○印：一般傍聴者，△印：事務局）

審議項目	発言者	発言要旨（発言順）
2. 委員紹介	△中西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・続きまして、委員のご紹介をさせていただきます。</li> <li>・お手元の第68回委員名簿をご確認ください。この書面をもって委員の皆様のご紹介に代えさせていただきますと思います。</li> <li>・なお、平山委員と矢野委員につきましては、公務の関係で1時間程度遅れられるということを聞いております。</li> <li>・続きまして、河川レンジャーの皆様と事務局の名簿を載せております。根木山レンジャーにおきましては、公開の部分は所用がありまして欠席ということで、活動報告に当たりましては動画をあらかじめいただいております。よろしくお願いいたします。</li> <li>・本日の議事でございますが、議事次第の「3. 報告」から「5. その他」までを公開で執り行わせていただきます。公開の議事終了後、河川レンジャーの皆様、一般傍聴の方にはご退席いただきまして、非公開審議を執り行わせていただきます。閉会は17時を予定しております。長時間にわたりますが、どうぞよろしくお願いいたします。</li> <li>・注意事項としまして、委員の皆様、レンジャーの皆様にはお願いですが、リモート開催ということで、発言以外のときはマイクをミュート、発言の際には、進行の中谷委員長に挙手等の合図の上、ミュートを解除していただきますよう、よろしくお願いいたします。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傍聴の皆様におかれましては、議事の最後の「その他」でご発言の時間帯を用意しております。その際には、委員長の進行により、お話しいただけたらと思います。</li> <li>・それでは、これ以降の進行を中谷委員長にお願いしたいと思います。委員長、どうぞよろしくお願いたします。</li> </ul>
--	--

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
3. 報告 (1) 河川レンジャー活動支援室からの報告	中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆様、お疲れさまです。ありがとうございます。</li> <li>・では、早速ですが、今、報告のありましたとおり、議事次第にのっとり進めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。</li> <li>・まずは報告事項が2点ありまして、1つは河川レンジャー活動支援室からの報告ということで、事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、お手元の資料-1をご用意ください。「河川レンジャー活動支援室からの報告」ということで6点ほど報告させていただきます。時間の関係もでございますので、概要の報告とさせていただきたいと思います。</li> <li>・1ページをご覧ください。1つ目が「河川レンジャー・河川レンジャートライアルの応募状況」ということでございます。</li> <li>・まず、河川レンジャーの応募状況でございます。3名の現在の河川レンジャーから再任の希望を申し出ていただいております。さらに新規で3名の応募がございます。計6名の応募となっております。本日、非公開審議にて審査を行っていただきたいと思いますと思っております。</li> <li>・続きまして、河川レンジャートライアルの募集状況でございます。前回11月8日に第67回でご報告させていただきましたが、5名の河川レンジャートライアルを登録しており、継続していただいております。なお、募集も継続中でございます。</li> <li>・河川レンジャートライアルの皆様には、2ページにございますように、11月8日以降の活動としまして、12月18日に河川レンジャートライアルの研修ということで、河川レンジャー制度の理解を深めていただくことを目的に、事例紹介を現地でさせていただき、その後、意見交換や質問を聞くというような会を設けました。その際に4名に参加いただきまして、具体的に活動の中身や仕組みを聞いていただきました。河川レンジャートライアルは、もともとはボランティアという形で応募されていた経緯もありますので、意識が少し変わったというような感想をいただいております。ボランティア側から企画者側になるのだなというようなことを理解していただけた会になりました。</li> <li>・4ページでは、そのレンジャートライアルで学んだことを龍谷大学のボランティアセンター内で発表され、河川レンジャーの紹介をしていただきま</li> </ul>

した。これは1月17日の発表会の際のデータを掲載させていただいておりますが、資料の下段にございますように、「参加して見えてきた課題」や「おすすめポイント」というふうにとりまとめ、河川レンジャーの課題を的確に書いておられました。地域住民の参加が難しいとか担い手がなかなかいないという課題を感じられたというようなこと、また河川レンジャーとしてのメリットについても学内にも広めていただきました。

- 次のページですが、河川レンジャーの皆様に対して支援室として行ったのが河川レンジャー勉強会でございます。12月5日に実施したのですが、河川レンジャーの皆様から、新たな場所に展開していく際にどのようなスキルを身につけたらいいか、どのようなふうに地域に入っていくといいか、また新たな技はないかというようなことで支援室のほうに要望をいただきました。その要望を受けまして、河川レンジャーとして新たな地域に入っていく際の知識や技術を学ぶという研修といたしました。
- 講師には長く地域でのファシリテーターをされている久保田様をお呼びして、実際の活動のノウハウをお聞きする機会といたしました。そこではワークショップ形式で皆さんのアイデア出しをしたり、どのようなふうな地域の入り方があるのだろうかというようなことを出してみたり、久保田さんの経験を語っていただいたり、また実際に地域に入る際の細かなところの質疑応答などができまして、レンジャーさんからもこの経験を次に生かしたいというような意見をいただいております。
- 7ページ、8ページは河川レンジャーの皆様と琵琶湖河川事務所の皆様の意見交換会ということで、これは毎年2回ほど開催しておりますが、今年も2回目を12月に行いました。
- こちらのほうも、別の場所に展開していくとき、特に野洲川の上流域に展開していくときの具体的な課題や連携の仕方を探りたいということで、野洲川の自然再生事業との連携や野洲川の幼木伐採に関する連携について深掘りして河川事務所の動きをお聞きし、また河川レンジャーの活動の可能性を探るといったような意見交換ができました。
- 自然再生に関しましては、上流においてビワマスの産卵、アユの産卵というようなキーワードで自然再生事業が行われているということで、実際自然再生がされている場所のアクセス性がどうかということでは、活動がしづらい場所でもあるので、しやすい場所であればこういうところがあるのではないか、というような意見交換ができました。
- また、幼木伐採に関しましても、河川事務所と地元企業との活動で展開していくということをお聞きして、河川レンジャーが入っていく余地はどのくらいあるか、というような意見交換ができて、今後の具体的な活動計画に展開していければ、というような意見がございました。
- 9ページ目は、「瀬田川・琵琶湖の外来水草問題を学ぼう」ということで、

	<p>河川レンジャーの応募のハードルを下げていきたい、また地域の皆様に地域のコーディネーターを育成する勉強会をしたかったということもありまして、希望者を募って、最近の瀬田川・野洲川の話題を学びながら、地域にどう展開していくか、という計画づくりのワークショップを開催しました。こちら、河川レンジャートライアルやレイカディア大学など、コーディネーターの希望がありそうな方々を中心に、ターゲットを絞ってご案内させていただき、実施しました。結果、河川レンジャーに興味が出たので説明を聞きたいというお話も聞いております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12ページからは前回の委員会の議事要旨でございます。こちらにつきましては皆様に確認いただきましたので詳しい説明は割愛させていただきますが、前は河川レンジャーの中間活動報告がありまして、委員の皆様からアドバイスをいただいた会でもございました。</li> <li>・報告は以上でございます。</li> </ul>
中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい、ありがとうございました。</li> <li>・ただいま報告いただいた件に関して、委員の皆様から質問、ご意見等ありましたら伺いたしますが、いかがでしょうか。・・・よろしいですか。</li> <li>・時間も無いのですが、私から1つ。最後の部分で、一般の住民さんにも募集をかけたということですが、そういうリストアップするベースはどういう感じで選んでもらったのでしょうか。</li> </ul>
△中西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リストアップとしましては、1つは、河川レンジャートライアルに少し計画づくりに携わってもらって、そういうノウハウを知ってもらおうということ。</li> </ul>
中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トライアルはいいのだけど、レイカディアの人とか、その辺はどうですか。どういうルートで声をかけたかというのが知りたいだけです。</li> </ul>
△中西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レイカディア大学さんはボランティアをする方やコーディネーターをする方を教育されているということもありまして、河川レンジャーへの応募の期待があるなということ。</li> </ul>
中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的にレイカディアのどういう組織に声をかけていったのですかということです。要は、レンジャーの応募者を待っているのですけども、例えば、今のように積極的に打って出られたルートというか、その辺で参考になる部分があるかなと思って発言をしました。時間も無いので、また教えてください。</li> <li>・委員の皆様、次に行かせていただきますが、このパートについてはよろしいですか。はい、ありがとうございます。では、報告事項の1点目、支援室からの報告は以上までとさせていただきます。</li> </ul>

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
3. 報告 (2) 河川レンジャー年間活動報告	中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>次は、レンジャーの年間活動報告ですね。進め方をまず事務局から説明いただいてよろしいですか。お願いします。</li> </ul>
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> <li>こちらの議事では、河川レンジャー3名の年間活動計画に基づいた報告をさせていただきます。ご意見、ご助言を賜りたいと思っております。</li> <li>これよりレンジャーさんから報告を5分間、その後、委員の皆様との質疑応答を5分間、お一人計10分を目安にと思っております。議事進行の関係から、5分、10分たちましたら、ベルで合図をさせていただきます。</li> <li>資料は、資料-2です。</li> <li>なお、順番からいきますと、根木山レンジャーが最初になるのですが、本日は所用ということでビデオでのご報告となります。そのため、順番を入れ替えまして、水上レンジャー、福西レンジャーの報告を先にさせていただきます。根木山レンジャーは最後にと考えております。よろしいでしょうか。</li> </ul>
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>はい、ありがとうございます。今説明いただいたとおりの進め方でさせていただきますので、事務局のほう、時間管理をよろしくお願いします。</li> <li>では、水上レンジャーからお願いできますか。</li> </ul>
	R水上	<ul style="list-style-type: none"> <li>それでは、私から説明させていただきます。中間のときに報告させていただいていますので、今回、時間の関係もありまして、変わったところだけを簡単に説明させていただきたいと思えます。</li> <li>まず「今年度の成果目標と到達度」につきましては、特に(2)の「樹木再繁茂対策」のところですが、樹木再繁茂対策の一つである幼木伐採を住民の皆さんと行うということで、これは5月に立命館とやりました。そのときは行政と一緒にやりました。その結果を受けて、新たに10月の野洲川河川清掃では住民主体で幼木伐採を実施することができたということで、中間報告のときはCでしたけども、Bに評価を上げています。</li> <li>もう一つは、(4)のところですが、「河川レンジャー活動をしようという人の支援」ということで、河川レンジャーとして活動してきた経験を生かして、河川レンジャーの活動をしようとする人の支援を新たにやりました。具体的に言いますと、先ほど支援室から説明もありましたが、野洲川河口部ヨシ帯モニタリング調査について、支援室と連携して、河川レンジャートライアルの方にレンジャー活動の体験をしていただきました。これはC評価としています。</li> <li>次のページの「活動内容の計画と結果」ですが、夏と秋の野洲川河川清掃については詳細を説明させていただいていますので飛ばします。</li> <li>11ページの「河川レンジャー活動をしようという人の支援」におきましては、先ほどと同じく、河口部のモニタリング調査について河川レンジャー</li> </ul>

	<p>トライアルの方に活動の体験をしていただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あと「活動対象に対する関係づくり結果」は、レイマックさんや綾羽さんについては丁寧に説明させていただいて、地元自治会についてもやってきています。立命館守山中学校のところは、先ほどと重複しますけれども、5月に実施した幼木伐採については琵琶湖河川事務所と連携したけれども、10月は住民が主体的に実施したということで、ここに新たに記載させていただきました。</li> <li>・「今後の課題」ということで、これが一番大事なところです。今年度の課題は、野洲川河川清掃において地域住民の参加者が少なかったと。来年は増やすことをやらないといけないということで今年度中に増やす検討を行って、来年の活動計画に反映させたいということを考えています。</li> <li>・これからの活動で新たに組みんでいきたいこととして、これは今年の後半もしましたけれども、今後、河川レンジャーの経験を生かして、河川レンジャー活動をしようという人の支援を行うことを考えています。先ほど紹介した2つの活動（幼木伐採、野洲川河川清掃）に入るような形によって支援を考えています。</li> <li>・スケジュールにつきましては、2月の「河川レンジャー活動をしようとする人の支援」ですね。先ほど野洲川河口部での体験のところちょっと紹介させていただいて参考にしてもらっていますので、そういう形でやります。</li> <li>・振り返りとしては、おおむね計画した活動をできたと思っています。</li> <li>・時間の関係でちょっと端折りましたが、以上、簡単に説明をさせていただきました。</li> </ul>
中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水上レンジャー、ありがとうございました。</li> <li>・ただいま報告をいただきました。委員の皆様から質問、ご意見等ございましたら伺います。どなたからでも結構ですが、いかがでしょうか。</li> <li>・はい、辻委員、どうぞ。</li> </ul>
辻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水上レンジャー、活動、それから報告、ありがとうございました。いつも充実した活動をされていますので、大変頼もしく聞かせていただいております。ありがとうございます。</li> <li>・1点確認です。(2)で紹介いただきました幼木伐採についてです。立命館守山中学校さんとの活動とのこと。同校はサイエンス教育等に力を入れていると聞く。</li> <li>・といたしますのは、立命館守山中学・高校さんは、以前、サイエンスに関する発表をいただいた記憶があります。よって、単に幼木を刈るということだけではなく、表題にあるように防災と樹木、河川の流下能力、生態系などの考察をしてくれているのではないかと考えるためです。活動を通じて生徒さんから学術的な考察等が聞かれたりしたか確認したいと思います。</li> </ul>

R 水上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございます。</li> <li>・それにつきましては、まず樹木再繁茂対策の一つということで幼木伐採。ちょっと間接的なものになりますけれども、要するに、国交省のほうで伐採をしても、そのまま放っておくと、樹木が大きくなって再繁茂するから、防災のために対策をしないかと。そのために住民の方々の力で幼木伐採をしますということ、立命館守山中学に訪問しまして、きちんと生徒の前で説明しました。それは防災の関係でお訪ねしました。ただ、難しい計算がどうのこうのというのは……なので、そこまではもちろん……。</li> <li>・もう一つ、それだけでなく、幼木伐採に加えて炭づくりの関係。それは……、幼木を使って炭をつくると。酸素を止めて炭をつくるということで、その過程を皆さんと一緒に勉強してもらって、それを現地で実践したと。特にサイエンスクラブの先生が協力されて、それがサイエンスクラブと一緒にできたことかなと思っています。</li> </ul>
辻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございます。</li> <li>・活動の結果のA～F評価欄ですが、実施内容の事実記載に加え、新たな気づきがあったとか、特に今おっしゃった防災とか、そういったところを学生にも再認識してもらって川への関心が高まったとか、そういう内面的な効果も書いていただけると、よりよいかと思います。今後のまとめにおいて反映いただければと思います。提案でございます。</li> <li>・以上です。</li> </ul>
R 水上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援室、事務局と相談させていただいて、できれば追加記入したいと思います。ありがとうございます。</li> </ul>
中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辻委員、ありがとうございました。</li> <li>・北井委員、どうぞ。</li> </ul>
北井	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水上レンジャー、ありがとうございました。</li> <li>・河川清掃の活動も結構長く続いてきて、毎回の清掃と2部立て、3部立てになっている企画がより一層充実してきたなと思っております。特に10月は、いろいろな連携でかなり充実した企画内容だったのかなと思っております。運営がレンジャー主体から少し変わっていくといいですねという話題もありながら実施をしているものなので、河川清掃の準備や運営で課題に感じていらっしゃることや、ここがうまくいったなと手応えを感じていらっしゃるものがあつたら教えてもらいたいと思うのですが、いかがでしょうか。</li> </ul>
R 水上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それは、住民主体に向けてどういうことができたかというのと、それで悩んだことということでよろしいでしょうか。</li> </ul>
北井	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうですね。企画もこなれてきた感じがあつて、手応えを感じていらっしゃる部分でも。一気に住民主体に移すというのが実現できるかということ、一歩ずつかなとも思いますし、その点の難しさを分かった上で、</li> </ul>

	<p>運営されていて感じられた部分として教えてもらえたらいいなと思います。</p>
R 水上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初のころは、行政（琵琶湖河川事務所）のクリーン作戦といったところで一緒にやっていたので、そこを去年ぐらいから徐々に。その中で、具体的に言いますと、例えば防災かまどづくりを綾羽さんと一緒にやったときは、綾羽さんのほうが主体的に材料とか、いろいろなものを提供していただいたり、幼木伐採につきましても、ドラム缶での炭づくりを、どちらかというと、サイエンスクラブに主体的にやっていたりして、私は横でコーディネートしている形で、少し主体的になってきたと。</li> <li>・ただ、去年もそうだったのですが、今年はちょっとましになったのですが、1部、2部でたくさん催物をすると、どうしても私のほうで全部を見られないものですから、ちょっと任せてしまっているというのがあって、参加された住民の方から「もう少し見てほしかった。水上さん、頼むで」ということを言われたのが反省点です。だから、なかなか一気に持っていけないというのと徐々に持っていかないといけない、そこが難しいところで、来年もそこをどうしようかなと悩んでいるところです。</li> <li>・やっぱりそのためには訪問して、まさに膝を交えてゆっくり話をさせていただけたらいいかなと思っています。今年は、アンケートをとっても、そういうご意見がなかったものですから、よかったという形でいけました。そういう形で、時間はかかりますが、何回も訪問させていただく、そこが一番大事なところだと思っています。</li> </ul>
北井	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございます。</li> <li>・それぞれ企画の準備や運営は担うところで主体になってもらえているということかなと思って聞いていたのですが、そうやって一個一個の調整が戸別訪問になってしまうと、それはそれで役割も重いかなというふうに思っています。実行委員会じゃないですけど、一緒に打合せを行うなど、「ここはあなたが進めてね」みたいにするというのももしかして一つの手なのかなというふうに今のお話を聞いていて思いました。</li> <li>・いろいろな協力先も増えてきていますし、またご調整いただいて、今後の展開なども期待したいなと思う企画です。</li> </ul>
R 水上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会は、確かに、最初に考えたとき、立ち上げようと思ったのですが、まずは個々の信頼関係をもう少し高めて、誰かリーダーシップをとってくれるような人を——具体的に言うと、レイマックさんが非常に熱心にしてくださいますので、今、リーダーシップをとっていただくように根回し的なことをやっています。ただ、なかなか難しいですね。あと一、二年はかかるかなと思っています。そのときは、実行委員会というか、我々は協議会という言い方もしていますが、そういう形のところでやっていきたいと思っています。それは目指していこうと思っています。ありが</li> </ul>

		とうございます。
	北井	・分かりました。すばらしいと思います。ありがとうございます。
	中谷	・はい、ありがとうございました。 ・事務局、時間はどうですか。
	△中西	・すいません。時間は11分になっております。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過ぎちゃったのですか (笑)。すいません。一言だけというか、手短に。</li> <li>・今の話と関係するのですが、要は仕掛けていくときに、学校なり企業なり、組織があるところは結構下りていくと思うのだけど、住民はどうするのかと。課題のところにも上げてもらっていたと思うのですが、そこへどううまくいくのかというようなところ。例えば「住民の声 (想い) を聴き、届ける」というところでC評価となっていますけれども、アンケートをしたときに「子どもと一緒に清掃活動をやって面白かったね。よかったね」というのは分かるのだけど、例えば、レンジャーがこういう動きをしているのだけど、あんまりそういうことを知らない住民さんに、「そんなこと、どう思う？」とか、そういうことを聞いてみるのもヒントになる部分があるかもしれないなと思っていて。どこともいろいろお膳立てができてきたら、そこに参加して「ああ、それはよかったな」というのは誰も思うところなのですが、そういうところをつなげていって、もうちょっと一緒にみんなで寄って、実行委員会とか、そういうのがあればよりいけるよね、みたいなところにつながっていくといいのかなと思って。</li> <li>・まあ、うまく企業を巻き込んでいってもらっていますし、また守山市当局のほうもうまく巻き込んでいただけるといいかなというふうに思って聞いておりました。ありがとうございました。</li> <li>・さらに時間をオーバーさせていただきましたけども、次は、福西さん、お願いできますか。</li> </ul>
	R福西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、「今年度の成果目標と達成度」について、時間の関係上、手短にお話しさせていただきたいと思います。</li> <li>・「(1)瀬田川利用者の実態とニーズの把握」ということで、瀬田川を利用している地域住民の方に声かけを行い、交流を図りました。事務局からいただいている名刺は120枚配布を済ませまして、自己紹介など、活動については実施できたとは思いますが。</li> <li>・あと、釣り人に対してライフジャケット着用の必要性について説明するというのを挙げていたのですが、集中している釣り人が意外と多く、話しかけづらい場面も多々あって、ライフジャケットを着けていない釣り人に対して自分が思っているほど説明ができなかった、時間が取れなかったというのを感じました。今後の課題として「今後、ライフジャケット着用啓発の話題に使用していく。」ということも挙げまして、C評価とさせていただきます。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「応急手当と水難事故発見時の対応」としまして、令和4年6月20日にウォーターステーション内にて参加者10名で行わせていただきました。前半は座学で学習していただき、後半はAEDを使用して実技をさせていただきました。これは年2回活動予定で挙げておりまして、2月19日にも予定していたのですが、流行感染症の影響で中止になってしまいました。</li> <li>・次に「(2)景観保全やマナー面から見た課題の把握」ということで、1月中旬に地域住民とともに瀬田川東岸で清掃活動を実施するというのを挙げていました。関わりの中で、瀬田川西岸利用者は美化意識が非常に高く、ごみが少ないということを知ることができました。瀬田川への思いや課題について質問調査を行い、適宜メモにして記録させていただきました。</li> <li>・別途取り組んでいる個人の活動で行った10月16日の琵琶湖清掃活動で、大津市環境政策課にごみの処理方法などに関わるきっかけができました。それに伴い、北部クリーンセンターとのつながりもできました。その清掃活動の参加者は70名で、瀬田川河川清掃の参加につなげることができました。</li> <li>・今年1月21日に「第1回地域住民と釣り人をつなぐ清掃活動」というのをさせていただきました。瀬田川の河川愛護モニターの永田様とともに清掃する場所などについて話し合いをして活動することができました。参加者は30名で、参加者に、清掃活動終了後、一言メモを記入していただくことができました。</li> <li>・これが参加者の声ということで一言メモをパワーポイントにまとめたものです。時間の都合上、全部読めないのですけれども、いろんな感想が聞けましたし、次回もぜひ参加させていただきたいというような前向きなコメントもたくさんいただきまして、有意義な清掃活動にすることができました。</li> <li>・「今後の課題」としまして、瀬田川の利用者は美化意識が高く、生活ごみが少なかったです。しかし、河川レンジャー活動の3日後、同じ場所に行くと、生活ごみや釣りごみが放棄されている現状もありました。南郷洗堰から鹿跳橋の間にかけて多くのごみが見られるため、今後、機会があれば清掃活動を検討していきたいと思いました。</li> <li>・以上です。ありがとうございました。</li> </ul>
中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福西レンジャー、ありがとうございました。</li> <li>・では、質問、ご意見等を伺います。委員の皆様、いかがでしょうか。はい、辻委員、どうぞ。</li> </ul>
辻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福西レンジャー、ありがとうございます。お疲れさまでした。</li> <li>・2点あります。1点目は確認と提案です。前回のこの場面でお尋ねしたのですが、6月20日に行っていた「応急手当と水難事故発見時の対応」、これをいつも大変興味深く聞かせていただいているのですが、こ</li> </ul>

		<p>これは、動画の撮影とか動画の配信とか、そういうのはできないのでしょうか。もし可能でしたら、来年度以降、みんなにも分かるような場面ができたかなと思うのですが、どんなものでしょう。</p>
R 福西		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 一つのアドバイスとして参考にさせていただきたいと思います。スマートフォンと台座となる器械があればできますので、今後考えていきたいと思っています。</li> </ul>
辻		<ul style="list-style-type: none"> <li>• この福西さんの取組は、琵琶湖、瀬田川全体でも役立つし、そもそも川で活動されている方の参考になるかと思っています。事務局にて、そういうフォローができるようなところを考えてもらえるとうれしいなと思っています。1点目は以上でございます。</li> <li>• 2点目は確認です。後半にお話いただいた瀬田川の清掃活動の件です。北部のクリーンセンターとつながりもできた点について確認したいです。瀬田川でのごみ収集のときの役割分担を整理すると、①ごみを拾う作業と②クリーンセンターに運ぶ作業、③クリーンセンターで燃やしてもらう作業、この3つがあると思います。それぞれどこがどう担当されたのか、教えてほしいです。</li> </ul>
R 福西		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 正直なところ、北部クリーンセンターにごみ回収をしていただくまでが今回させていただいた作業なのです。回収したごみは、こちらで燃えるごみ、燃えないごみ、瓶・缶に分けて指定されたところに集めて、後日クリーンセンターの方が取りに来ていただくという流れで、その場所指定や日時とか、そういう関わりというのは密にさせていただいているのですが、焼却のところはどういう流れかというのは、まだ勉強できてないといえますか、ちょっと確認はできていないです。</li> </ul>
辻		<ul style="list-style-type: none"> <li>• ありがとうございます。今のご説明で、分別までを参加者の方がしてくださって、それを運んで燃やすというところは事前に段取りされて市のほうにお願いしていると、そういうような調整をされたと理解をしました。</li> <li>• この分担は、今までと同じなのか、それともこれまでの分担を見直し工夫された内容なのか、アピールポイントみたいなのは何かありますか。</li> </ul>
R 福西		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 僕自身、河川レンジャーをさせていただく前に淀川清掃と琵琶湖清掃という2つの清掃活動に参加させていただいて、その清掃活動の主催者の方に清掃活動の立案から回収するまでの話をいろんなところで聞いていて知識としてはあったので、今回、市役所に行って回収の用紙をもらってとか、そういう段取りというのはスムーズにできました。</li> </ul>
辻		<ul style="list-style-type: none"> <li>• ありがとうございます。そういった段取り、取りまとめ係さんがいらっしゃるおかげで皆さんも活動がしやすくなっていると思います。引き続き、よろしくお願ひしたいと思います。お疲れさまでございます。</li> <li>• 以上でございます。</li> </ul>
中谷		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 辻委員、ありがとうございました。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北井委員、どうですか。</li> </ul>
北井	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単に感想という感じなのですが、年間通して継続的に現場に足を運ばれていることはすごいなと思いながら拝見していました。</li> <li>・清掃活動の開催については、今までのご経験とか個人で行っておられるとかでノウハウもあったと思うのですが、注意事項の呼びかけからごみの分別・回収までこうやって企画をまとめて実施されているのを見ると、しっかりノウハウがたまったのかなというような気がしています。</li> <li>・清掃活動をしたい人がどれだけいるのか分からないのですが、ほかのところにもアドバイスになるというか、こうやったらできるよとか、注意しているポイントなどが広がったり、伝えられたりするといいなと思いながら拝見しておりました。お疲れさまでございました。</li> </ul>
R福西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございました。</li> </ul>
中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北井委員、ありがとうございます。</li> <li>・では、私から。福西さんは、お住まいのところから違うこちらへ、言えば飛び込み状態に来て、いろいろなところとつながる活動をしてもらっていて、多分、そうやって回ってもらおうと、出会う人ということになるのかもしれませんが、かなりの人数になると思います。そういう中で、ライフジャケットのことを言われると「ほっといてよ」みたいなのところも正直あるのじゃないかということもあるので、その辺は気をつけながら、うまく広がる方法があればいいなと思います。</li> <li>・さっき、辻委員からも、仕事柄を生かしてAEDの動画とか、お話しされましたが、例えば、費用的に連携のほうの予算でできるのであれば、そういうのが分かりやすいカードを釣り人さんに出会ったときにさりげなく渡しちゃうとか。そういうところでAEDどうのこうのと言ったって、どこに置いているのかということも調べないといけないので、それも瀬田川沿いで遊んでいる人にとってはいい情報になるかもしれないなと思って聞いていました。</li> <li>・あと、最後のほうにあったのですが、下流へ活動範囲を広げようという気持ちは大変ありがたいのですが、危険な部分もあるので、その辺は十分注意しながらやっていただくといいなと。</li> <li>・長くなってすいませんが、もう一つ。1月の清掃活動については、わずかですが、我がNPOのメンバーも半分ぐらいだけ合流してもらいましたが、例えば丸々知らない人と歩きながらしゃべるといっただけでもいいなというようなこともあったので、そういう中でまたアンケート的に聞いてもらえたら。水上さんのパートでも言ったのですが、「こういうことをやって楽しかったな」という感想も聞けるのですが、意地悪っぽい聞き方になるのかもしれないけど、「どういうところが楽しかったんですかね」とか、もうちょっと掘り下げて、適度にさりげなく一、あやふやな、ファ</li> </ul>

	<p>ジーな話ばかり言っていますけど、見ず知らずの人と接するときはそういう雰囲気も大事だと思うので、適度に気持ちを持ちながら感想的なことをつかんでもらうのもいいなと思って聞いておりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動には大変敬意を持って見ておりますので、ありがとうございます。</li> </ul>
R福西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございました。</li> </ul>
中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・では、次は根木山さんのビデオ出演ですかね。</li> </ul>
△中西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい。根木山さんから5分の動画にまとめていただいております。資料は、お手元の資料ー2と補足でお送りしましたパワーポイントとなります。</li> <li>・では、共有させていただきます。</li> </ul>
R根木山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こんにちは。河川レンジャーの根木山です。本日は年間活動報告に出席がかなわず、動画のほうで失礼いたします。</li> <li>・では、画面共有をして報告させていただきます。</li> <li>・私は、今年度も「野洲川の川守りをつなぐ」というテーマで10年目の活動をさせていただきました。</li> <li>・成果目標の1番の部分に関しましては、主には夏場の川遊びや幼稚園の活動支援ということで、既に中間報告でさせていただいている部分が主になります。新しい部分では、この3月19日、春休みに住民グループのほうでカナディアンカヌーの体験会をしようということで計画いただいています。そちらを支援させていただいております。また、守山市が中洲親水公園に新しいトイレを整備されて、供用を開始されております。住民からも従来の仮設トイレは汚くて使いづらいという声があったので、そういった声を守山市に届けて整備されたのはうれしいことだなと思っております。</li> <li>・2番の幼木伐採の住民参加の促進支援というのを、中間報告以降、させていただいております。11月から2月にかけて住民グループのほうで3回活動していただきました。4回の予定だったのですが、1回は雨で中止になりました。参加人数も大人39名、子ども48名ということで、延べ人数ですけれども、たくさんの方に参加いただいております。幼木を切ったり、幼木にたどり着くためにヨシを刈ったり、刈ったヨシでお家づくりの遊びが始まったり、あるいは、この後のスライドなのですけれども、住民の声として、ヨシで船ができればいいねとか、船をつくったら来年野洲川冒険大会のいかだ下りに出たらいいのじゃないかみたいなアイデアが出てきています。あと、刈ったヨシの保管にうちを使ってくれていいよという方がいらっしゃったりしています。それから、ヨシを刈る中で、あるいは幼木を切る中で実際作業するのは大変だねというような声が出ていたりして、その辺は草刈り機でうまく刈れないかという技術支援みたいなこともちょっと模索しております。</li> <li>・3番の部分ですけれども、今お伝えした住民の声も含めて、全般的に中洲</li> </ul>

	<p>親水公園の水辺利用について住民の満足度が高いということが手応えとして感じられています。そういった声を今後も集めながら守山市や琵琶湖河川事務所にも伝えていけたらなと思っています。あと、別途支援室のほうから、水辺利用以外で住民活動の中で気づかれている声を拾って整備につなげていくこともできないかということをお願いしていますので、今後はそういった部分も住民さんに尋ねて声を拾えていけたらなというふうに思っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4番のかわまちづくりに向けた連絡調整なのですが、地元学区長はかねてから野洲川を守山の宝としてかわまちづくりに生かしていこうということをおっしゃっていただいているので、この間も1月に意見交換をしてきたのですけれども、トイレが整備されたことも受けて、残りのスペースがありますので、そこをカヌーやライフジャケットの置場にできないか提言していこうということで確認しております。</li> <li>・ 5番のところは、新しい河川レンジャー候補を探索するというので取り組ませていただいて、1名の方に新たに河川レンジャーにご応募いただくことができました。</li> <li>・ 報告書のほうの評価は全体的にB評価で、特別すごくよかったこともないかなと思うけど、ある程度はできているかなということで自己評価をさせていただいております。</li> <li>・ 今後については、できれば上流側に上がっていきなというのと、あと新しい河川レンジャーの方が誕生されましたら、必要があればサポートをしていきなということを考えております。</li> <li>・ 私からの報告は以上になります。ちょっと質疑応答に答えられませんが、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。</li> </ul>
中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 根木山さんの発表を聞いていただきました。</li> <li>・ お断りなのですが、実は3時から応募者のプレゼンテーションということになっていますので、あまり待っていただくわけにもいかないかと。それで、根木山さんは従来から長くやっておりますので、委員の皆様から「こうしたらどう？」というのは、後の応募の際に質疑応答の時間がありますので、そこでお話いただくこととさせていただいてよろしいですかね。あと5分ほどほかの議事の時間が必要だと思いますので。</li> <li>・ ということで、事務局、そういう形で進めさせていただきますので、よろしいですか。</li> </ul>
△中西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい、ありがとうございます。</li> </ul>

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, ○印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
4. 審議 (1) 河川レンジャー応募用紙等の改正について	中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定の議題ではレンジャーの応募用紙の改正についてということで挙げていただいていますので、これについて説明いただけますか。</li> </ul>
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応募用紙の改良についてということで、お手元の資料-3になります。</li> <li>・ 2ページ目と3ページ目を見比べていただきたいのですが、現在の応募用紙を少し分かりやすく改良してみようというものでございまして、現在、ホームページから入っていただくと、2ページのような応募用紙を書いてくださいとなっております。特に1枚目の部分を少し改良しようかなと思っているのですが、2ページのところに質問事項が2つございます。「◆活動経験」ということでこれまで取り組んでこられた経験を聞くところ、それから2つ目も「◆過去・現在の活動経験をできるだけ詳しく記入してください。」ということで下段でも上段と同じことを書かないといけないということもありまして、同じことを書くのですかというような質問を受けた経緯もございます。</li> <li>・ そういったことを受けまして、次のページにありますように、空欄をかなり大きくとりまして、「今まで取り組んでこられた活動や、現在取り組んでおられる地域活動等がありましたらご記入ください。」という質問1つにして、そこに自由にたくさん書き込んでいただくというような形に変えたいと考えております。</li> <li>・ なお、質問事項の中で「内容」というところに取消し線を引いておりますけれども、ここは重複するようなこととなりますので文言を削除しております。</li> <li>・ 2枚目のほうは河川レンジャーになってどういうことをしたいかという自由形式で、これは踏襲しますので、1枚目を少し改良するというご提案でございまして。</li> </ul>
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 確認ですけど、これは河川レンジャーの決まり事、要領とか、その辺には差し障ることなく、ここで決めればそう変えていいということでよろしいですかね。</li> </ul>
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい、そうです。規約とか規定とか、そういうところには全く載っておりません。</li> </ul>
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい、ありがとうございます。</li> <li>・ 私は、元の様式で、上のほうにはさらっと「こんな活動、こんな活動」、カテゴリーとといいますか、そういうことを書いて、下のほうではそれをさらに具体的に書くということでよかったのかなというふうに思っていたのですが。それは、特段そういうお話だったかもしれないけど、前例踏襲と言うと「いつ改めるねん？」ということもあるのですが、長年やってきていることもあり、今言ったようなこともあり、同じことを書か</li> </ul>

	<p>ないでねという意思表示をしているわけだから、元のままでもいいのかなというように気がして聞いておりましたが、委員の皆様からご意見等ありましたら、どうぞお話しただいて。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はい、北井委員、どうぞ。</li> </ul>
北井	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私も中谷委員長のおっしゃられた感じと同じで、元用の紙の上の段は、活動名というか、箇条書きで書いて、下に説明みたいなイメージの様式だったのかなと思っています。要点がつかみやすいというメリットはあるのかもしれないと思うのですが、この表のタイトルの書き方は、箇条書きとか、そういうふうにとさらっと書くのかというふうには分かりにくいという面が逆にあるのかなと思いつながら聞いていました。</li> </ul>
中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうですね。下で詳しく書いてと言っているのだから、上はもう、例えば「何々の活動」くらいの感じで、具体的にどういう人とつながってどういうことをしていましたというのを下で書いてもらえれば、それはそれでいいのかというふうに思っているのですが。</li> <li>・事務局からどうですか。そういう意見を聞いてもらったときに。</li> </ul>
△中西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上を箇条書きで書いたとして、下のほうでは全てにおいて詳しく書くのかというようにもありましたので、例えば下のほうで「特にPRしたい活動経験を」とかという修飾語を書かせてもらってもいいのでしょうか。</li> </ul>
中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それは構いませんけれど。改めて早くスタートを切れれば、それはそれでいいことだと思いますので。</li> <li>・河川レンジャーから見てどうですか。</li> </ul>
R水上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にないですね。</li> </ul>
中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にないというのは、変えなくてもいいということなのか。</li> </ul>
R水上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かに前のやつは項目がダブっているけれども、概要と2つ書くのもいいけれども、結論的には事務局が提案された内容が分かりやすくいいと思います。</li> </ul>
中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1個にまとめるということですかね。</li> </ul>
R水上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうです。1個にまとめるというのがいいと私は思います。</li> </ul>
中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・というご意見もありましたが、これは分かれるところですね。</li> </ul>
北井	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川レンジャーに応募してこられる方の社会的な背景も様々で、上手に書いてくださる方と羅列でずらっと書いてくださる方と、いろいろあるので、欄をまとめるのもどちらでもいいとは思いますが、記入例じゃないですけど、こんなふうに書いてもらったら分かりやすいというようなことが分かったらいいのかもしれないなと思います。</li> </ul>
中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうですね。あまりいろいろやっても、個人の受け止め方もいろいろあると思うので、活動されていることも千差万別なので、こういう書き方でいいかという、それでいいと思うので。</li> </ul>

		・事務局、どのようにしますか。今日ここで決めるということでしたら。
	△中西	・今年度はこれまでのもので応募してきておられますので、今後というところでは、できたらシンプルなほうがいいのかもしいかなので、ご提案させていただいたようなフォーマットで。ちょっと記入例も書かせてもらって、こちらも共通して説明できるような記入例をつくって、それをホームページにも載せておくというような形でできればと思います。
	中谷	・はい。では、その記入例をうまく考えていただいて、「こういう格好でホームページを改定しますが、いかがでしょうか？」みたいな案を一度配信してもらって、その結果でということにさせてもらいましょうか。
	△中西	・はい。
	中谷	・では、そのように取扱いをお願いします。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
5. その他 (1) 河川レンジャー関連活動の年間実績及び次年度スケジュール案	中谷	・では、次、活動実績とかあるのですが、これに関して説明をお願いしますか。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動実績と来年の計画の資料でございます。今年の方はほぼ終わってきておりますので、ご確認いただけたらというところです。</li> <li>・今年度も3月まで終わります、本日、委員会を執り行っていると。それまでのものにつきましては、11月以降のものは先ほどの報告資料の中で出てきたものを掲載しております。あと、河川レンジャーレポートを最後に発行する予定にしております。</li> <li>・裏面は来年度のスケジュールでございます。来年度は3回の委員会を予定しております、基本的にはというスケジュールをご提示させていただいております。</li> <li>・以上です。</li> </ul>

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
5. その他 (2) 河川レンジャーレポートvol. 48発行報告	中谷	・次もお願いします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・続きまして、レンジャーレポートの第48号を1月に発行しております。こちらは、水上レンジャーの清掃活動と根木山レンジャーの幼木伐採の活動を載せております。今回は、福西レンジャーの清掃活動を中心にとっております。</li> <li>・以上でございます。</li> </ul>
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい、ありがとうございます。</li> <li>・前の機会にも言ったかもしれませんが、河川レンジャーの活動フィール</li> </ul>

		ドとうまく合わせるような格好で。多分、部数を多めにしても費用的にはそんなに変わらないのかなという気もしますので、行政とか、大津でいうと市民センターとかですね。それは既に置いてもらっているかもしれませんが、その辺は工夫しながら、レンジャー活動の際に活用しているのぼりとともにうまく連動して広まればいいなと思っておりますので、その辺、よろしくお願いします。
	△中西	・もう一点、事務局から報告したいことがございます。資料はお配りしてないのですが、河川事務所のほうから1枚提示しましてご紹介させていただきたいと思えます。
	△松田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・琵琶湖河川事務所の松田でございます。私のほうから、1枚、資料提供をさせていただきます。</li> <li>・福西レンジャーからも3日たったらごみが増えていたというような報告がありましたとおり、近年、マナー低下、特にこの瀬田川散策路でマナー低下が見受けられるというところもありまして、琵琶湖河川事務所としてこのような啓発のチラシをつくらうということを考えてございます。どういう配布の仕方をするかというのはまだ決まっておりますが、今後また河川レンジャーになられた方等と連携しながら周りの方に広めていきたいなというふうに考えてございます。</li> <li>・以上、報告的なところを紹介させていただきました。</li> </ul>
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい、ありがとうございます。</li> <li>・中身の情報はうまく入れてもらって、例えばQRコードをつけておいて河川レンジャーの応募のところへつなぐとか。ちょっとダイレクトにそこへ行くと生々しいので、河川レンジャーの活動にはこういうことがありますとか、こういう活動をしてもらっていますとか、そういうところの工夫もまたしていただけないかと思いました。</li> <li>・ぐるりさんぼ道の情報へも飛ぶとか、工夫の余地はあると思うので、よろしくお願いします。</li> </ul>
	△松田	・はい。ご意見ありがとうございます。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, ○印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
5. その他 (3) 傍聴者からの ご意見	中谷	・今日は、傍聴の方はおられるのでしょうか。
	△中西	・傍聴の方はお一人おられますので、時間を設けていただけたらと思えます。
	中谷	・では、これからつないでください。
	△中西	・それでは、傍聴者の方、ご意見、ご質問等がございましたら、ご発言ください。
	○野村	・野村です。本日はよろしくお願いいたします。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日いろいろ聞かせていただいて、あまりイメージが分からなかったのですが、具体的にこんな活動をされているのだなということも分かりましたし、お話が聞いてよかったです。感想ですいません。</li> </ul>
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい、ありがとうございます。</li> </ul>
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これにて第68回の制度運営委員会、公開の部分を終了させていただきたいと思います。この後、休憩を少し挟みまして、非公開審議、河川レンジャーの審査を執り行いたいと思います。河川レンジャーの皆さん、傍聴者の野村様はご退出をお願いいたします。</li> <li>・委員の皆様におかれましては、このままの状態、15時15分になりましたら再開ということをお願いしたいと思います。</li> </ul>

以上